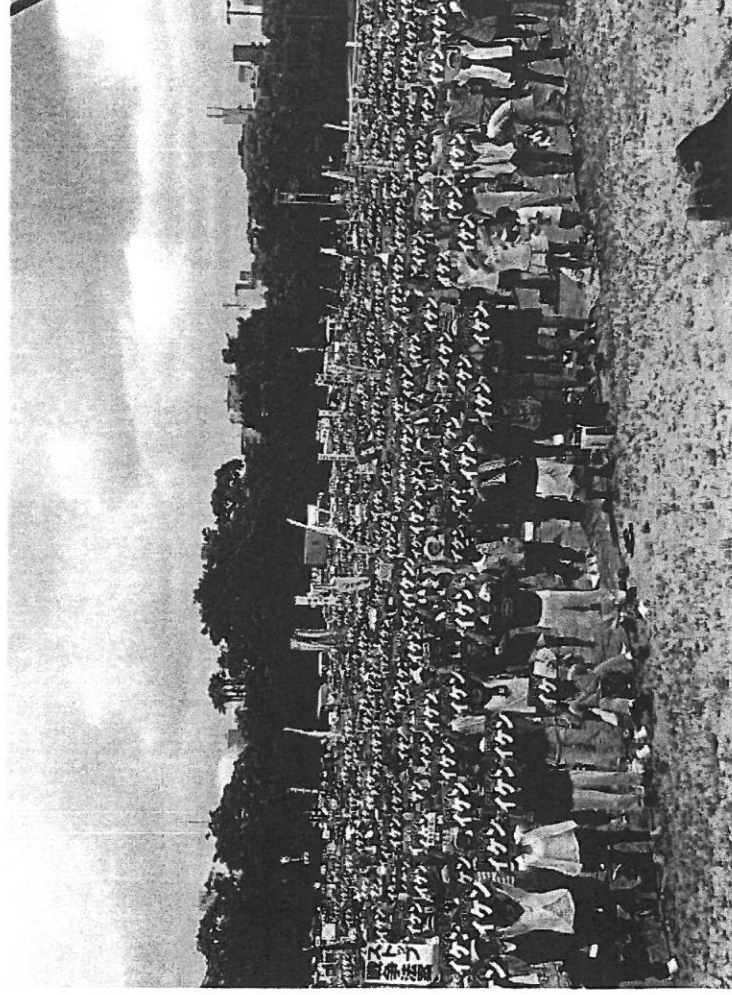


# 憲法違反の戦争法案(安保法制)を参議院 で必ず廃案に追い込もう! 9条守れ!民主主義を守れ!独裁政権退陣 を求める集会に4500人が参加。

広島のだンプ労働者の新聞

## ダンプ通信

全日本建設交通一般労働組合広島県本部  
広島だンプ支部  
〒七三〇-〇八五三  
広島市中区堺町一丁目一九三〇三  
TEL (〇八二) 二三五三〇五一  
FAX (〇八二) 二三五三〇五二  
MAIL ctg@hiroshima.email.ne.jp



4,500人の参加者全員で「戦争イケケン」のパフォーマンス(12日・広島市中央公園)

七月二日(日)広島市内の中央公園で「ストップ!戦争法七・二ヒロシマ集会が開催され四五〇〇人が参加しました。主催者側は、当初三千人集会としていましたが、それを大きく上回る参加者となりました。集会では参加者は「戦争イケン」を掲げ、パフォーマンスのあと市内をデモ行進しました。

### はならない

### 国家の憲法に変えて

### 日本国憲法を独裁

「ヒロシマから大きな声を上げよう」と開会挨拶。

### だンプ支部から四人

### 建交党から一人

集会には建交党からは一人人が参加、だンプ支部からは執行部四人が参加しました。



7・12集会に参加した建交党のだンプ支部、広島支部、鉄道支部、地域支部の皆さんらと記念写真。

### 可能性ある

### 参議院での廃案の

七月二七日(月)から参議院での論戦が始まりましたが、「戦争法案」は予算を伴う法律と違い、「自然成立」はありません。

安倍内閣は戦後最長の九五日の国会延長を決めて、「六〇日ルール」(衆議院で可決され参議院に送られた法案が六〇日以内に議決されない場合、衆議院は参議院が法案を否決したものとみなすことができる規定)を悪用して、衆議院でのさらなる「強行成立」を狙っていますが、参議院での審議で、これまで同様に答弁不能や立ち往生する事態になれば、政権の支持率はさらに低下、さらに世論と運動が大きくなり、法案を廃案にすることは可能です。

### 徒然草

■衆議院での強行採決のあけく憲法違反の「戦争法案」は参議院での審議が始まった。しかし、安倍内閣は壊れたテープレコーダーの如く同じ答弁を繰り返している。■「(アメリカとの)集団的自衛権は抑止力になる」「武器の使用はあるかもしれないが武力行使には当たらない」「後方支援(兵站活動)は安全なところでやる」「自衛隊のリスクが高まることはない」「憲法9条違反には当たらない」など。■内閣支持率は低下し続け、今月初めには「朝日」や「毎日」の世論調査でも「不支持率」の方が逆転、その後も不支持率は増え続けている。どうとう安倍応援団の「読売」の最近の世論調査でも「不支持」(四九%)が「支持」(四三%)を上回る結果に。■東京オリンピックの競技場建設問題でも、安倍政権は追い詰められていた。衆議院本会議で強行採決した一六日の夕方、安倍は「国民やアスリートの皆さんの声に耳を傾け、(競技場建設を)白紙に戻します」と国民にむけてのたまった。■国民にわかりやすく支持率にすぐ影響しそうな問題では、ヤバイと思つたら方針転換をテレビの前で演出する。安倍という人間は本当に「愚劣な人間である」(宮崎駿監督)(M)